

決 議 文

兵庫県の中央から中央東部に位置する北播磨・丹波地域は、子午線に沿うように日本海と瀬戸内海をつなぐ国道175号によって県内外の地域と結ばれ、その恩恵により発展してきた。

しかし、産業構造の変化や高齢化の進展、人口減少、気候変動に伴う災害の激甚化・頻発化等により、地域への深刻な影響が懸念されつつある。このような中、経済復興のためにも、誰もが安全・安心に暮らせる地域づくり、地域特性を生かした産業の活性化と賑わいあふれる地域づくり、持続可能な地域づくりの推進が一層重要となっている。

近年、全国各地で想定をはるかに超える甚大な災害が頻発しており、平成30年7月豪雨では、中国自動車道、山陽自動車道をはじめ、周辺のほとんどの高規格道路が通行止めとなる中、国道175号は高規格道路ネットワークを補完する広域迂回路として、大変重要な役割を果たし、災害時でもその重要性が再認識された。また、令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、高規格道路のミッシングリンクの解消や、ダブルネットワークによる交通機能確保の必要性を痛感した。

現在、東播丹波連絡道路は、西脇北バイパスの整備が令和8年春の全線開通において着実に工事が進められている。また、近畿ブロック及び兵庫県新広域道路交通計画において高規格道路として、そして災害に強い国土幹線道路ネットワークの構成路線として位置づけられており、地元では、事業中区間の早期完成、さらには東播丹波連絡道路の全線開通への期待はますます高まっており、地域全体へ大きな効果をもたらす本道路の早期実現を強く待ち望んでいる。

このため、道路整備にあたっては地域の幅広いニーズを汲みとり、東播丹波連絡道路の西脇北バイパス以北の早期事業化に向けた調査の推進に加え、資材価格の高騰や賃金水準の上昇を加味した上で、必要な道路整備が長期安定的に進められるよう、所要額の満額確保を求めるものである。

都市部と地方部の均衡ある発展、当地域の活力ある地域づくりと生産性向上、命をつなぐ道路ネットワークの構築、災害に強い道路ネットワークの構築等に必要「国道175号東播丹波連絡道路」全線の早期実現について、格別の配慮がなされるよう強く要望するとともに、我々も持続可能で魅力ある地域づくりをより一層推進することをここに決議する。

令和6年7月20日

国道175号東播丹波連絡道路
早期実現促進大会